

一 般 質 問

日良居中学校の跡地利用は？

杉山 藤雄 議員

問 これまでの検討の経過とこれからの方針について町長の考えを問う。

答 日良居中学校の跡地については国道沿いで立地条件に恵まれているところから、グラウンド、体育館と校舎前のスペースを農産物の販売所として利用することで検討をすすめ、



日良居中学校

先進地視察、JAとの協議などをしてきた。

検討委員会の結論がグラウンドと体育館は地域住民の健康増進と社会体育振興に寄与することが良いとするものであり、町としてもその意向にそって当面は地域町民に利用していただく方針。

校舎については検討委員会で協議の結果（体験交流施設、児童福祉施設、学校の歴史資料施設）に加えて、教育委員会事務局を1階に移転して、2階を会議室等に利用することを考えている。

この校舎は建築基準法改正（昭和56年）前の建物であり、地震に対しての第1次診断は済んでいるが、今後第2次診断を実施し、その結果を基に具体的な計画を作る必要がある。

耐震補強して利用するか、それとも現状のまま利用するか考えているところであり、今しばらく時間をいただきたい。

地震対策は万全か？

平川 敏郎 議員

問 本町は、山口県で唯一東南海・南海地震防災対策推進地域の指定を受けている。学校施設は、ほぼ耐震化建物に整備されているが、保育所、公民館の耐震化はどうか。

答 保育所、公民館のうち耐震性が不明な各施設は、避難所の指定はしていない。乳幼児を預かる施設、不特定多数が集う施設であるため、今後調査し耐震改修を行う。

問 津波に対し保育所、公民館の避難体制の整備について問う。

答 両施設に関わらず、迅速かつ正確に情報を防災行政無線等で伝達する。避難にあつては、地域消防団、自主防災組織、施設の管理者の

指示、誘導に従って避難していただく。

問 下水道・最終処理施設・上水道配水池の耐震化チェック対策について問う。

答 各施設共新しく建築構造物は耐震を満たしている。

問 ポンプアップ場所は、震災を受けた場合、災害協定の元、業務委託をしているのか。

答 上水道と同様に業務委託している。上下水道が震災を受け、送水管・配水管が破裂した場合は、断水状態となるが、緊急遮断弁により、22ヶ所の配水池より10日間は緊急給水ができる。



橘地区の配水池